



だいすき! SAKAHOGI



CS 新聞

「ふるさと・坂祝学習」真っ最中

【令和8年度 第1回学校運営協議会】

4月28日（火）に中央公民館で令和8年度第1回学校運営協議会と、地域・園・学校協働本部が開かれました。学校運営協議会は、小中学校長から今年度の学校経営方針の説明があり、質疑応答の後承認されました。

《小学校の経営方針の概略》

「気力にあふれた たくましい 坂祝の子」の教育目標をもとに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つを通して具現化していく。こどもも教師も笑顔を願い、そのために鍛えることを大事にしていく。

《中学校の経営方針の概略》

「めざす学校像」は「笑顔と会話があふれる楽校」をもとに「確かな学力」、「人間関係力・自治力」、「自己管理能力」の3つを通して具現化していく。坂中生徒会の4本柱は「学習・合唱・福祉・美化」である。



《質疑・意見等》

- ・ICTは便利だが、リテラシーモラルの指導はどうなっているか？ トラブルはあったか？
中学校…技術家庭科のEネットの情報モラルを教えている。今のところ大きなトラブルはない。
小学校…タブレットを渡すが、学年に応じた決まりを確認している。SNS 端末でのトラブルは起きる可能性があるなのでその都度研修を行っている。
- ・AIのソフト利用により、自分で考える前に答えが出てしまうのではないか？
中学校…実際にレポートをAIで作成して提出した例がある。書いたものをChatGPTで検索してはどうかと指導した例がある。
- ・子どものことをよく考えてもらっていることがわかり、安心して送り出せると思った。
- ・見守り活動をしているが酷暑が予想される中、暑さ対策はどのように考えているか。
小学校…低学年は2～3時に下校となる。冷凍庫に入れたネッククーラーを使用。朝と下校の健康観察を行っている。
中学校…ウォーターサーバーを稼働して、水分をとってから帰宅させている。

《岐阜大学地域協学センター副センター長 後藤 誠一様からのご指導》

- ・学校と地域が連携していくには何が大切か⇒子どもの意見、参画がポイントになる。
子どもが大人に対して意見を言い、実現をしてやることで達成感をもてるようになる。町長に話すことで地域の出来事が自分事になる。
- ・コミュニケーションを育てるには地域の力が大切である。
- ・ICTにおいては技術と教育は追いつけっこの関係で発展をしていく。子どもの問いを支えることが子の成長につながる。

《岐阜県県民生活課生涯学習係 渡辺 史子様から頂いたメッセージ》

- ・運営協議会では学校の経営方針に対して自分たちにできることは何かを考えて発言をしていた。
- ・「だいすき坂祝」の子が増加している。このような子たちが大人になって戻ってくるのではないかと、そうでなくてもそれぞれの場所で社会をよくする動きをすと思われる。
- ・主体的な大人の姿から子どもたちが主体的になる。全国で5名しかいない※CS ユースリーダーが岐阜県第1号に坂祝から出るのではないかと。 ※国から認められたCSに参画する20代の若者
昨年度まで可茂教育事務所におられた渡辺先生が、県に戻って坂祝の実践を報告して褒めてもらえたそうです。

【令和8年度 第1回幼稚園運営協議会】

5月19日（火）に幼稚園にて令和8年度第1回幼稚園運営協議会が開かれました。第1回は、園の経営方針に対する質疑応答があった後、経営方針が承認されました。

会の後は、子どもたちの元気なリズム体操の様子を参観しました。

《園の経営方針の概略》

園の教育目標は「やるき こんき げんき な 坂祝幼稚園の子」で、重点は「遊びを通した教育活動の充実」「個の特性を理解した支援の充実」「小学校とつなぐ取り組み」の3点で、子供の成長のために情熱を注ぐ教師をめざしている。

今年度より満3歳児の入園の受け入れをしているが、年少児が3歳のお世話をしようとしている。バス通園がなくなったので、駐車場での安全指導をしている。



《質疑・意見等》

- ・送り届けている駐車場の様子を見ていると、保護者同士が話していて、その間子ども達が見放されている場面があった。送り届けてから話せると安全である。
- ・幼保小中連携で12年間、生まれてから15年間を通して見守られているのが坂祝のよさである。園でやっていることが小中学校のベースとなっている。
- ・「やってみたい。」という環境を大人が用意することで、試行錯誤ができ、これは高校の探求的学びにつながる。
- ・「だいすき坂祝」のテーマのもと名前は知らないけど、このお兄ちゃんにあそんでもらったという経験は坂祝の地域づくりにつながると思う。
- ・子どもの考えに寄り添った指導のおかげで明るい表情がある。
- ・自由に遊ばせるための準備がすごい。図鑑を片手に調べている姿があった。





だいすき! SAKAHOGI



CS
新聞

「ふるさと・坂祝学習」真っ最中

【小学校 学習支援】

小学校では、様々な教科でボランティアが学習支援に入っています。

◆国際教室

小学校には、ブラジル、フィリピン、ペルー、スリランカ、インドネシア、中国など他国の子どもたちが通っています。中には日本語が不十分な子もいます。国際担当の先生



が、取り出して指導をされていますが、ボランティアの先生も支援に入っています。

◆6年 家庭科 (5月26日、27日)

5, 6年の家庭科で調理実習やミシン実習等で支援に入っています。今回は「朝食の大切さ」の学びから、いためて作る朝食メニューの実習でした。手際よく行動して



野菜の甘みが出たおいしい野菜いためことができました。

【坂区良をBVの会】

「親子釣り大会」



しおやき
おいしい

5月5日(火)に坂祝神社前の田んぼで、ボランティア団体「坂区良をBVの会」の方々による恒例「親子釣り大会」が行われました。この会は、平成23年度から始まりました。途中、コロナ感染症のために休止の時期がありましたが、長年ボランティアの皆様のご熱意で10回目を迎えました。



当日は101人の子どもの参加

がありました。当日は、青天のもと、親子で魚釣りや魚つかみをしました。釣った魚は塩焼きにしてもらって食べました。また、会員さんたちが焼いた団子やおにぎり、ジュースなどもたくさんいただき、親子で楽しい一日を過ごしました。



保護者から

「こうした体験がなかなかできないので、親としてはとてもありがたい。こんなにしてもらって子どもたちも喜んでます。」

と、いう感想をもらいました。

【すまいるひろば】 「外国人児童等を中心とした休日での学習支援」

5月16日(土)に「すまいるひろば」がありました。これは、外国人の子を中心に日本人の子も参加しており、日本の文化の体験や学習を楽しく行います。第1回は12人の参加がありました。自己紹介の後、サンライフに飾ってある5月人形を見に行きました。



初めて見た子も多く兜飾りや鎧飾り、太刀や弓を見て何に使うものか次々と質問が出ました。それに対してボランティアの方々が丁寧に答えていました。見学後は、公民館に戻って、傘のたたみ方の練習や、クイズプリントや学習プリントをしました。



ボランティア先生に、忘れていた内容を教えてもらうなど確かな学力につなげていました。

【放課後学習会】 「外国人児童等を中心とした学習支援」

5月18日(月)に放課後学習支援ボランティアの方々による今年度第1回の放課後学習会が小学校図工室で開かれました。月に1、2回、一斉下校がある月曜日の放課後(15:00から16:20)行っています。時には1対1で教えるなど手厚い支援をしています。今年度は17名の参加で、ドリルや音読などの宿題をやったり、自分に合ったプリントをしたりしました。



外国人か否か問わず、お迎えが可能で参加希望をされる保護者の方は、教育課(66-2409)までご連絡ください。高学年でも参加可能です。

【あいさつ活動】

今年度も小学校では登校した子から歩道橋の前に立って地域の人と一緒に、自主的にあいさつを呼び掛ける姿があります。天気の良い日はもちろん、雨の日でも登校した子たちから階段の下に集まって地域の方々と一緒にあいさつを呼び掛けています。

幼稚園では、ハイタッチのあいさつをしています。また中学生も実力テストの日でしたが、大きな声であいさつをしていました。あいさつをする姿はつながっています。

